

建築物のライフサイクルカーボン削減に関する関係省庁連絡会議幹事会（第2回）
議事要旨

1 日時

令和7年3月31日（月）17:00～17:40

2 場所

中央合同庁舎8号館5階共用D会議室

3 出席者

○議長

今村 敬 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

○構成員

野口 久 内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）

野崎 彰 金融庁企画市場局企業開示課長

瀬戸信太郎 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課長

福田 淳 林野庁林政部木材産業課長

荻野 洋平 経済産業省イノベーション・環境局環境政策課GX推進企画室長

稲邑 拓馬 経済産業省製造産業局総務課長

木村 拓也 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課長

村上 幸司 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課長

高梨 潤 国土交通省不動産・建設経済局不動産市場整備課企画専門官

中澤 篤志 国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長

前田 亮 国土交通省住宅局参事官（建築企画）

吉野 議章 環境省地球環境局地球温暖化対策課長

4 議事要旨

○冒頭挨拶

今村議長から、以下のとおり挨拶がなされた。

- ・昨年11月11日に開催した「建築物のライフサイクルカーボン削減に関する関係省庁連絡会議」以降、国土交通省住宅局が各省庁から個別に意見を伺うプロセスを経て、「建築物のライフサイクルカーボンの削減に向けた取組の推進に係る基本構想（幹事会案）」として取りまとめた。今後、ライフサイクルカーボンの取組や制度化に向けた議論が進むことを期待している。

○議事

- （1）建築物のライフサイクルカーボンの削減に向けた取組の推進に係る基本構想（幹事会案）について

前田住宅局参事官から、資料1に基づき、基本構想（幹事会案）について説明がなされ、それを踏まえて意見交換が行われた。主な発言は以下のとおり（順不同）。

【今村議長】

- ・基本構想の肝は、「今後の検討/施策のロードマップ」を対外的に示すことであり、「2028年度に建築物LCAについて制度開始を目指す」というメッセージ

ジを発信して政府の本気度を示すことが重要である。2028 年度に制度開始を目指すことから逆算すると、可能な限り早期の制度設計・検討が必要ということが伝わるかと思う。設計者や建設業者、不動産業者においてはライフサイクルカーボンの削減に対する意識が高まっているが、施主側の企業トップや中小の素材メーカーなどまだ意識が必ずしも高くないところに対して大きなメッセージになればよいと思う。

- ・建築物のライフサイクルカーボンを削減するためには、川下の建築生産者だけでなく、川上の素材産業の努力も欠かせない。このため制度化に向けた検討の場として、業界との調整のための検討会を開催する方向であると理解している。
- ・木材利用の推進も制度に盛り込めるとよいが、建築物 LCA 算定の結果として木材が有利になるということかもしれない。グリーン調達も更に推進されることを期待したい。

【野崎企画市場局企業開示課長】

- ・有価証券報告書の開示制度との連携について反映していただき感謝申し上げます。

【瀬戸文教施設企画・防災部施設企画課長】

- ・国全体として、建築物 LCA の取組を進めていくという認識の共有が重要である。丁寧な調整に感謝申し上げます。

【福田林政部木材産業課長】

- ・基本構想（幹事会案）に、木材利用による炭素貯蔵量について反映していただき、感謝申し上げます。
- ・国内森林資源の循環利用の観点から、国産材利用が評価されるような運用についても一緒に考えていきたい。

【荻野イノベーション・環境局環境政策課GX推進企画室長】

- ・丁寧な調整に感謝申し上げます。

【稲邑製造産業局総務課長】

- ・丁寧な調整に感謝申し上げます。

【木村省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課長】

- ・何のために制度を導入するのが重要。ハードルの高い EPD を要件として求める等せず、事業者の省エネ等の取組が広く評価される仕組みにすることで、国全体のカーボン削減目標を達成するツールのひとつとして、合理的な制度設計を行うことが重要。その旨を反映していただき、感謝申し上げます。その方向で具体化していきたい。

【村上大臣官房官庁営繕部設備・環境課長】

- ・来年度から、一定規模以上の直轄の営繕事業について、アップフロントカーボンの算定を先行実施していく予定である。国土交通省の所管予算の営繕事業に加え、各省庁から支出委任いただいた事業についても先行実施の対象とす

る方針で進めており、建築物LCAを進めていきたいと考えている。

【高梨不動産・建設経済局不動産市場整備課企画専門官】

- ・制度の対象の検討にあたって、デベロッパー等の建築生産者における建築物LCAの普及状況等を踏まえる旨記載していただき感謝。

【中澤住宅局住宅生産課木造住宅振興室長】

- ・木造の担当として、林野庁とも連携して進めていきたい。

【前田住宅局参事官】

- ・短い時間で調整にご協力頂き感謝申し上げる。

【吉野地球環境局地球温暖化対策課長】

- ・原単位の整備について、データの正確性が重要であるが、他方で、認証無しのカーボンフットプリントを認めるなど事業者に過度の負担を負わせることが無い形でライフサイクルカーボンの算定・削減を進めることも重要と考える。
- ・本年2月に見直した政府実行計画では、「ライフサイクル全体を通じた温室効果ガスの排出削減に努める」と初めて記載したところ。国による先行実施について官庁営繕部とも連携して進めていきたい。
- ・「グリーン購入法」や、現状はオペレーショナルカーボン削減対策が中心だが、「環境配慮契約法」に基づく対応についても、今回の制度化検討と並行して取り組んでいく。
- ・ZEBの支援事業の中で、ライフサイクルカーボンの算定・削減を要件に補助率を嵩上げする事業を実施している。引き続き支援していきたいと考えている。

(2) その他

特になし。

○今後の予定

- ・本幹事会にて議論いただいた基本構想（幹事案）の内容について整理できたため、新年度に「建築物のライフサイクルカーボン削減に関する関係省庁連絡会議」を持ち回り開催し、基本構想を確定することとする。
- ・本幹事会の配布資料及び議事要旨については、調整をしたうえで、後日、内閣官房ホームページで公開することとする。

以上